



一般質問通告書

平成 28 年 5 月 25 日

午前 8 時 30 分
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

湖西市議会議長 二橋 益良 様

湖西市議会議員 島田 正次



質問方式 (○を付ける)		一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題	
1	合併して良かったと思える市政について	
2	湖西市と湖西市長の今後について	
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	合併して良かったと思える市政について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>以前も、「合併して良かったと思える市政」とはどんなものかという質問をした。</p> <p>湖西と新居の合併は、一応形式的には新居の編入合併であっても実質的には対等でいくという約束であったが、三上市長による「湖西占領軍」をいきなり宣言されスタートした。最近では、「どうやったら別れられるか」ということを真剣に聞いてくる住民さえいるこの現状を、任期満了直前の市長はどう考えるか聞きたい。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>現時点ではこの合併は失敗だったと言わざるを得ない状況である。将来の湖西市のために、この状況を市長としてどのように考えるかを再度質す。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. 「合併して良かったと思える市政」とするためには、今ある市の資源をどのように活用していけばいいのか。市長には具体的な考えがあるか。数か月後には次のリーダーにバトンタッチしなければならない立場として助言するとすれば何を第一として助言するか。</p> <p>2. 合併当初は、観光の面では「新居が主体となって」という答弁が^あり、バランスが良くなったと市長は言っていた。</p> <p>関所の整備も、同報無線のスピーカーのレベルアップも、消防緊急無線システムのデジタル化も、避難デッキも命山も、自分の手柄のように市長は言う。それらは当然やらなければならない事をやっただけで、三上市長が特別な働きをしたわけではないとは思っている。</p> <p>そこで、この12年を振り返り、市民生活向上のためにこれといった施策をしてこれなかったことに対する反省の弁をもらいたい。仮に反省の余地はないと思っていたとしたら、それは市民感覚とのズレだと思う。これまでのように、「私はやってきた」「見解の相違だ」「私の責任ではない」というような答弁ではなく、合併で良くなったとしている市政運営におけるバランスについて、市長はどういう感覚でいるのかを再度聞きたい。</p>	

番号	主 題
2	湖西市と湖西市長の今後について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>これまで一貫して「湖西市にとって三上市政は空白の期間だった」と言ってきた。あと数か月、三上市長がやるべきことは何かを明確にする必要がある。</p> <p>12年やってもできなかった人が、この先やっても変えられるはずがないと私は思う。そこで三上市長が考える湖西市と湖西市長の今後について質す。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>真のリーダーと実現可能なビジョンの存在が将来の湖西市政における最重要課題であるので、現職としての考えを聞きたい。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 検証もできない県内唯一のばらまきや、先進事例のつまみ食いとマネごとしかできず、効果も成果もあげることができないのに「市長の地位」に執着する理由は何か。 2. 明確なビジョンがないまま過ごしてしまった三上市政のこの3期12年が、湖西市の発展を遅らせてしまい、市民を「浦島太郎」にしてしまったのだと改めて実感している。そんな中、働き盛りの若い湖西市出身者が2人も名乗りを上げた。この2人の決意について現職市長としてどう感じているか。 	



一般質問通告書

平成28年 5月25日

前
午 8時40分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成28年 5月25日

湖西市議会議長 二橋 益良 様

湖西市議会議員 加藤 弘己



質問方式 (○を付ける)	<input checked="" type="radio"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題
1	2025 ^年 問題に向けた高齢者医療・介護への対応について
2	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	2025年問題に向けた高齢者医療・介護への対応について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>2025年は、「団塊の世代」がすべて75歳以上の後期高齢者になる年です。したがって、2025年には人口の18%が75歳以上となると言われます。しかもすべての都道府県で単独世帯が最多になると想定され湖西市も例外ではありません。これまで国を支えてきた団塊の世代が、社会保障サービスを受ける側に回るため、医療、介護などの需要が高まり、財源確保や介護・医療従事者の人手不足などが問題になると見られています。一方では病院施設への長期入院が廃止されるなど高齢者ケアの在り方が大きく変わりました。その様々な問題ととりわけ、高齢者の住まいの課題解決が急務となっています。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>自分で自分を保護しにくくなっている高齢者が安心して介護を受けられ、日々の暮らしを成り立たせるため。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者の公的施設、いわゆる介護保険3施設(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養医療施設)の現状と2025年までの計画を伺いたい。 2. 要介護認定基準は7段階に分かれています。要支援1、要支援2、要介護1、要介護2、要介護3、要介護4、要介護5というように重度なものになっていきます。湖西市における各段階の人数と要介護1、2で特別養護老人ホームに入所している実態を伺いたい。 	

3. 湖西市において、介護付き有料老人ホーム、住宅型有料老人ホーム、グループ・ホーム、サービス付き高齢者向け住宅(サ高住)、シニア向け分譲マンション等、民間施設の計画を伺いたい。
4. 地域包括ケアシステムを機能させるには、高齢者本人や家族はもとより、事業者や地域住民に在宅医療・介護への理解と覚悟が問われるが、家族や親族等への啓発はどのように考え、実践していくのか伺いたい。
5. 湖西市における現在と2025年の老老介護、介護難民の実態の見込みはどうか伺いたい。
6. 高齢者虐待件数、相談件数、防止策、介護者への支援について実態を伺いたい。
7. 2016年から、マイナンバー制度が開始されました。自分の情報を自己管理不得手な情報弱者とされる高齢者にどのような支援、保護をしていくのか伺いたい。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること



一 般 質 問 通 告 書

28年 5月 25日
前
午8時 45分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成28年 5月 25日

湖西市議会議長 二橋 益良 様

湖西市議会議員 橋 浩幸 (印)

質問方式 (○を付ける)	<input checked="" type="radio"/> 一問一答 ・ <input type="radio"/> 一括の質問答弁 ・ <input type="radio"/> 一括と一問一答
番号	主 題
1	新・湖西市総合計画基本計画の見直し案について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	新・湖西市総合計画基本計画の見直し案について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>市民協働で創る「市民が誇れる湖西市」の実現に向けて、新・湖西市総合計画基本計画の見直し案が提示されたが、1丁目1番地である市民参加のしくみづくりが大きく後退している様に見受けられる。まちづくり条例は目標から削除され、検討に降格した。湖西市は市民とどう向き合い、協働のまちづくりを進めるのか、行政執行部の考えを伺う。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>新・湖西市総合計画の中長期ビジョンと、先に策定された短期5年計画の湖西市総合戦略との整合性を確認し、湖西市の方向性を共有する。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 見直しによる成果指標と目標値に於いて、最終目標下方修正が30%以上有った。下方修正が多くなった背景と、修正目標達成に向けた事業の方策と市民協働で取組む戦略を伺う。 2. 基本計画の見直しでは、総合戦略との関係について、市街化区域内の未利用地の利用促進、昼夜間人口の差を定住人口に取り込み、人口64,000人を目指すと記載が有る。社会増加数の改善は若年層への対策が必要と考えるが、具体的な施策内容と効果見積もりについて伺う。 3. 市長の任期が5カ月と残り少ない中で、目標達成に対する責任は、どの様に担保されるのか、また、次期市長の方針を取り入れる用意は、しくみとして出来ているか。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書



28年 5月 25日

午前 8時 55分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成 28年 5月 25日

湖西市議会議長 二橋 益良 様

湖西市議会議員 中村博行



質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題
1	湖西病院欠損金について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	湖西病院欠損金について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>平成 16 年より毎年欠損金を計上しています。湖西病院は累積欠損金を増やそうという方向が伺える。この状態だと病院の改築も丸ごと市の出資が必要になると予想される。欠損金（赤字）とは病院決算で市よりの繰出し金（法定繰出し金＋営業助成）をもらっても足りない赤字の金額である。赤字決算を続ければ予算決算が通っても最終的には借金が残るだけでその借金は市民にふりかかってくる。これを未然に防いで頂きたい。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>健全な病院経営を目指す。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. 市長に就任してから今までに湖西病院への繰出し金と病院の決算での欠損金の総額はいくらになりますか。また欠損金に当てた費用の内訳明細額は。</p> <p>2. 病院決算で、最近では毎年欠損金が計上されている。改革プランを見ても毎年欠損金が計上されている。企業会計で 3 条会計が赤字になることは諸悪の根源であります。これからは決算でも改革プランでも赤字を防げるか伺います。</p>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書



28年 5月 25日

前
午10時20分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成 28 年 5 月 2 5 日

湖西市議会議長 二橋益良 様

湖西市議会議員 荻野利明



質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題
1	国民健康保険の 広域 化について
2	多子世帯の国保税・均等割の減額を！
3	生活困窮者自立支援制度から出てきた課題は
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	国民健康保険の広域化について

質 問 の 要 旨

(質問しようとする背景や経緯)

○2018年4月から国民健康保険の広域化が始まる。「なぜ都道府県単位化するのか」「市町村から国保は消えるのでは」と言った疑問の声が出されている。国保加入者に対して説明する責任がある。

(質問の目的)

○市民に説明するとともに、疑問に答えていただきたい。

(質問事項)

1. なぜ都道府県単位化する必要があるのか。加入者にとってどんなメリットがあるのか。
2. 広域化しても市町村は「資格管理」「保険税率の決定」「保険税の賦課・徴収」「保険給付」「保健事業」等、地域におけるきめ細かい事業を引き続き担うとされているが、保険者は県になるのか、市町村になるのか。
3. 国保税が大幅に引き上げられる心配はないか。
4. 「法定外繰入」「基金」などからの繰り入れは可能か。
5. 法定減免は今までどおりで変わらないか。(特に減免のための財源について)

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	多子世帯の国保税・均等割の減額を！
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>○少子高齢化社会の中で、子育て世帯の負担軽減は重要な課題となっている。国保税の均等割は現在、一人当たり 36,200 円となっており、多子世帯ほど負担が重くなっている。保育所の保育料は、きょうだいで通園する場合などは、第 2 子は半額、第 3 子は無料となっている。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>○多子世帯の負担を少しでも軽くする必要がある。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. 国保税の均等割は、生まれたばかりの赤ちゃんまで 36,200 円の課税がされており、多子世帯ほど負担が重くなっている。保育料のような方法で減額する考えはないか。</p>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
3	生活困窮者自立支援制度から出てきた課題は
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>○生活困窮者自立支援制度がスタートして1年。この制度が本当に市民に役立っているか疑問を感じる。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>○この制度から、市内に住む生活困窮者の実情を知るとともに、相談業務の中で出てきた課題を知ること、市民に役立っているか検証できる。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 相談業務の実績は。(相談件数と自立件数は) 2. 相談業務の中で出てきた課題は何か。 3. 生活困窮者自立支援制度そのものが市民に知られていないのではないか。どのように制度のPRを行っているのか。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること